

第1回 みつば学級

- 1 日 時 令和元年5月9日(木)
午前9時30分～11時
- 2 場 所 輪之内町文化会館 リトルホール
- 3 テーマ 「西濃地方の地形と災害」(講話)
岐阜聖徳学園大学
森田 匡俊 准教授
-

◇ 参加者

合計 20名

◇ 内 容

1 濃尾平野と水害

●濃尾平野の概要

2万年前に氷期。6000万年前、縄文海進。江戸時代、現在に近い。

沖積平野。濃尾平野が典型。木曾三川の流れ。濃尾平野は、西部は沈降、東部は隆起。

平野の西部を川が流れる。養老一桑名一四日市断層が西端。

犬山から一宮が扇状地。養老も扇状地。

扇状地は山に近いほど大きい石が堆積。普段は伏流水。せんじょうちの先端で水が吹き出して川になる。

●西濃の宅地化で何が問題か。

扇状地は、土砂災害の跡。災害が起きやすい。

氾濫原は、もともと河川がくねって流れていた。それを真っ直ぐに直した。旧河道は、危ない。三日月湖として残ったりしている。今昔マップを調べると、旧河道がわかる。

後背湿地は、周りより低いところに土砂が溜まる。地理院地図で調べる。

調整池はいざという時の水溜め。

最近、後背湿地に住宅が建ち始めている。

自然堤防。洪水の時に川岸に土砂が堆積したところ。自然堤防の上に集落ができる。

自然堤防は、洪水を防ぐ堤防ではない。

クレパスプレー堆積物。洪水の時に溢れ出た土砂。洪水の被害が心配。

おっぼり(押堀)破堤箇所のできる池。

輪之内町のハザードマップ 最悪、全町が5m以上の水害。

三角州。海からの水害。高潮。1hpで1cm引き上げられる。950hpなら50cm引き上げられる。

伊勢湾台風では、三角州と高潮被害地は一致。

2 南海トラフと地震。

日本は4つのプレートがぶつかり合う。

南海トラフは、ユーラシアプレートにフィリピン海プレートが沈み込む。

90年から150年に1回、地震が発生。1944年東南海地震。2035年以降か。

高々1500年間のデータで推測しているに過ぎない。

活断層による地震とは。活断層は、プレート内部のひび割れ。逆断層はプレートの押し合いで出来る。日本に多い。数千年から数万年の周期で動く。もっと前を含めると日本は活断層だらけ。養老桑名四日市断層。500年前に動いた。

濃尾平野は揺れやすい。地震波が減衰しにくい。震度7の地震がおきる。

地震の揺れと液状化。地震により、砂と絡みついていた水が吹き出す。

3 やっててよかった防災対策。

家具の固定。家族での話し合い。集合場所など。水の確保。トイレの水。枕元に笛。携帯の充電。

